

出エジ10 出エジプト記7章14節～25節

「エジプトに下る災い」

1. 文脈の確認

- (1) モーセは信仰の危機を乗り越え、パロとの2度目の対決を果たす。
- (2) アロンの杖は蛇に変わった。
- (3) エジプトの呪法師たちも同じことをした。
- (4) アロンの杖は彼らの杖を呑みこんだ。
- (5) それでもパロは、心を頑なにした。
- (6) いよいよ、エジプトに10の災いが下る。

2. メッセージのアウトライン

- (1) 10の災い
 - ①目的
 - ②7つの特徴
- (2) 最初の災い
 - ①警告
 - ②実行
 - ③結果

3. きょうのメッセージは、私たちに何を教えているか。

- (1) 聖書の記述の美しさ
- (2) 神以外のものに頼る愚かさ
- (3) 神の計画に参加する喜び

このメッセージは、神の計画に参加する喜びを教えてくれるものである。

I. 10の災い

1. 目的

- (1) イスラエルの民を解放するため
- (2) エジプトを裁くため
- (3) 偶像礼拝の愚かさを教えるため

2. 7つの特徴

(1) 形式

- ① $3 \times 3 + 1 = 10$
- ② 3つが1セットで、それが3回ある。
- ③ 最後はフィナーレである。

(2) 警告

- ① 各セットの中の最初の2つは、災いの前に警告が与えられる。
- ② 各セットの3番目は、警告なしに災いが下る。

(3) モーセの立ち位置

- ① 各セットの中の1番目は、モーセが朝パロの前に立つ。
- ② 各セットの中の2番目は、モーセはパロの前に立つが、時間は不明。
- ③ 各セットの中の3番目は、モーセはパロの前に立たない。

(4) 呪法師の反撃

- ① 最初の2つは呪法師の反撃があるが、それ以降はない。
- ② 悪魔の限界を露呈している。

(5) 災いの範囲

- ① 最初の3つは、エジプト全土に下る。
- ② 後半の6つは、エジプト人のみに下り、イスラエル人には下らない。

(6) 動作の主体

- ① 最初の3つは、アロンの手
- ② 次の3つは、神の手
- ③ 最後の3つは、モーセの手

(7) 災いの程度

- ① 最初の3つは、煩わしいもの
- ② 次の3つは、苦痛なもの
- ③ 最後の3つは、悲痛なもの

II. 最初の災い

1. 警告（14～18 節）

- (1) 朝、パロの前に立つ。
- (2) パロは、ナイルに出て来る。
 - ①ナイルなしにエジプトに命はない。
 - ②エジプト人たちは、ナイルを「エジプトの母」として礼拝した。
 - ③ここは、パロの朝のデボーションか？
- (3) 杖を持ってパロに警告する。

「あなたは次のことによって、わたしが【主】であることを知るようになる」

 - ①杖でナイルの水を打つ。
 - ②水は血に変わる（いわゆる赤潮であろう。自然現象が強く現れる）。
 - ③ナイルの魚は死ぬ。
 - ④ナイルは臭くなる。
 - ⑤エジプト人はナイルの水を飲むことを忌み嫌うようになる。
- (4) この災いの時期は、10月から11月にかけてであろう。
 - ①エジプトの農業は、ナイル川に全面的に依存していた。
 - ②ナイル川の増水は、毎年定期的にやって来た。
 - ③洪水ではない増水で、川幅が8倍になることもあった。
 - ④川の氾濫により、塩分が流され、肥沃な土壌が運ばれて来た。
 - ⑤増水は7月中旬から始まり、3カ月後には水が引き始める。
 - ⑥水が引くと、種を蒔く時期になる。
 - ⑦第一と第二の災いは、ナイルが増水し、その水が引いて行く時期に行われた。
 - ⑧第十の災いは春にやって来たので、10の災害は約半年間で起こった。

2. 実行（19～21 節）

- (1) 動作の主体は、アロンである。
- (2) 被害が広範囲に及ぶ。
- (3) 「木の器や土の器」とは、偶像に捧げ物をするための器である。
 - ①そこにも血があるようになる。
- (4) 【主】の命令通りに実行した。
- (5) ナイルの水はことごとく血に変わった。
 - ①魚は死んだ。
 - ②ナイルの水は臭くなった。
 - ③エジプト人はナイルの水を飲むことができなくなった。

3. 結果 (22～25 節)

- (1) エジプトの呪法師たちも同じことをした。
 - ①真水を見つけて、それを血に変えた。
 - ②エジプト人にとっては、なんの助けにもならない。
 - ③彼らは、血を真水に変えるべきである。
- (2) パロの心は頑なになった。
 - ①自分の家に入った。引きこもり現象 (アダムとエバも同じ)。
 - ②これを心に留めなかった。無責任 (神の裁きはないことにしよう)。
 - ③パロは飲み水に困らなかった。
- (3) エジプト人は、飲み水を求めて井戸を掘った。
- (4) その状態が7日間続いた。
 - ①エジプト人の多くが死んだ (紀元1世紀のユダヤ人哲学者フィロンの意見)
 - ②野菜、果物から水分を取った。
 - ③井戸や泉からの真水を飲んだ。

結論： このメッセージは、神の計画に参加する喜びを教えてくれるものである。

1. 聖書の記述の美しさ

- (1) 裁きの中にある形式美
- (2) いわば横綱相撲である。
 - ①勝っただけではだめ
 - ②美しく勝つ必要がある。
- (3) 聖書研究の喜び
 - ①真理の発見
 - ②啓示の美の発見

2. 神以外のものに頼る愚かさ

- (1) 日本の現状 初詣の人数 1億人前後 (警察庁発表)
- (2) 裁かれたエジプトの神々
 - ①Nile River ナイル川 (聖なる川)
 - ②Khnum クヌム (ナイル源流の守り神)
 - ③Hapi ハピィ (ナイルの霊)
 - ④Osiris オシリス (死後の世界を司る。ナイルはオシリスの血流)
 - ⑤Sepek セペク (ワニの守り神)
 - ⑥Neith ネイト (ラテスというナイル最大の魚の守り神)

⑦Hathor ハトホル（クロミス - スズメダイの一種 - の守り神）

3. 神の計画に参加する喜び

- (1) 信仰の危機を乗り越え、神の計画に沿って動き出したモーセ
- (2) 神の計画が成就するための役割を担う。
- (3) そして、自分もその計画の成就の一部となる。